

# 広報 なよろ

## きらめく まちビト



局長 <sup>かすや まひろ</sup> 粕谷 真大

副局長 <sup>いたがき けいこ</sup> 板垣 慶子

編集長 <sup>じょうぼり ひろと</sup> 城堀 宏斗

※局員を代表して3人の方にサインをいただきました。

毎年、各大会で上位の評価を得ている名寄高校新聞局。今年度の全国高校新聞年間紙面審査賞において、「優秀賞」と輝かしい成績をおさめたその秘訣について、原動力となった前局長たちを中心にインタビューしました。

### 多様な情報発信がある中、「新聞」だからこそ伝わるものがある



**受賞しての感想は**  
粕谷前局長・受賞時は学校にいたので、報告を受けてもあまり実感がわかず、他人事のように思っていました。ですが実際に賞状や盾を見てみると、3年間の努力が報われたような気がして、すごい賞をとったんだと実感しました。

**受賞会場での雰囲気は**  
板垣前副局長・全部の出場校で141校の参加がありました。皆さん全員和気あいあいとした雰囲気、同じ新聞好きという共通点をもった仲間として交流でき、新聞に対する熱意なども主張し合えたのでいい時間を過ごせました。



記事の最終チェックをする粕谷前局長

**新聞を作る上で心がけていることは**  
粕谷前局長・賞をもらって評価を得るのはうれしいことですが、まず根本として、在校生に対し名寄高校での出来事を周知し、情報を共有できるように作っています。生徒みんなが見てくれて、わかりやすい新聞をつくることを心がけています。



特にスポーツの写真は臨場感に溢れるものばかり

**写真をうまく撮る秘訣を教えてください**  
城堀前編集長・基本的にぶっつけ本番でやっています。前年記事を参考に前もって予習しておいて、撮りたいイメージを膨らませて本番に臨んでいます。あとは数勝負です、そこからのいい写真だけを選定しています。本当に数多く撮っているので、選定作業の方

表紙	1
もくじ	2
きらめくまちビト	2 - 3
功績を讃えて	4 - 5
決算からみる名寄市のすがた	6 - 9
パブリック・コメント	10
なよろ健康まつり&地産地消フェアinなよろ	11
フォトでお知らせ - 広報版 -	12 - 13
男女共同参画セミナー	14
市民が主体のまちづくり ～名寄市自治基本条例～	15
人事行政の運営等の状況を公表します	16 - 17
健康ガイド	18
EN-RAYホールイベント情報	19
名寄市立大学の窓から ～知への誘い～	20
プレミアム付商品券 名寄にUターン	21
Nスポーツコミッション スキー場シーズン券販売開始	22
家庭児童・母子・父子相談員の紹介 今月の手話	23
認知症カフェ 天塩川だより	24
健やかな成長を願って 消費生活センター通信	25
もっともち米プロジェクト なよろっばい家づくりの会	26
施設のお知らせ	27 - 29
暮らしのお知らせ	30 - 33
裏表紙	34



ココがすごいぞ名寄高校新聞局

現在は部員14人（3年生9人が7月で引退）で活動。創局は昭和25年設立で今年はちょうど70年目となる。平成8年から速報版と月刊版の2種類を作成し、名寄高校在學生や保護者の方などに、高校での出来事や各部活動の大会結果などを掲載。そのほかにも市の飲食店情報や観光スポットなど校外の内容まで多岐にわたる情報を収集し記事を作成。

昨年12月に、全国156校が参加した全国高校新聞年間紙面審査賞において、46校の第1次審査入賞校に選ばれ、7月末に佐賀県で行われた全国高等学校総合文化祭新聞部門へ出場する。出場期間中に最終審査が行われ、結果、5校選出された最優秀賞には惜しくも届かなかったが、7校選出された優秀賞のうちの1校となった。これは13年前に受賞して以来3度目となる快挙であり、審査員のコメントには「局員のエネルギーに脱帽！」や「工夫を感じる見やすく安定した紙面」などと高評価であるものが多かった。

また、全道高等学校新聞コンクールにおいても快挙が続く。10月初旬に開催された全道高等学校新聞研究大会の中で審査発表があり、手書き・ワープロ部門で23年連続23回目の総合賞(最高賞)受賞を成し遂げた。今年度においては同部門の参加30校中わずか3校のみの総合賞獲得校である。審査講評では「手書き・ワープロ新聞としてはおそらく日本で最も優れた活動をしている」と最大級の評価をもらった。



これからの新聞作成において、主力の3年生9人が引退し5人での活動となる。新局長となった北村加世子さんは、「人数が少なくなることでできないことが増えると思うが、無理しない範囲で今まで通り楽しく新聞を作っていけたら」と抱負を述べる。



創刊第1号の新聞  
日付は昭和25年7月16日

名寄高校の創立80周年で記念に作成された名高新聞縮刷版[上・下巻]



取材時、熱心に答える新聞局の皆さん

がすごく大変です。記事はどのような内容を柏谷前局長・高校に関することはもちろんですが、校外に関する飲食店情報なども記事にしています。見てくれている生徒からも評判です。

**今までの活動を行って苦労したことや面白かったことは**

柏谷前局長・私が1年生で入局したときに、2年生がいなかったもので、取材する・記事にする・新聞をつくるということに手が回らなく、とても大変だった思い出があります。板垣前副局長・自分の足で取材場所に向き、自分の感性で言葉にしたものをみんなに見てもらえることや、見てもらったときの反応を確かめられたことも、とても楽しいことでしたし、やりがいを感じていました。

**今後はどのようなことをやってみたいですか**

伊藤現副局長・実は今取り組んでいることですが、名寄高校改築時に体育館に飾られている校歌の歌詞版を移設する際、裏面に当時作成に携わった先生や生徒などのメッセージが書かれていました。読むとても興味深かったので、当時の状況を聞きたく何とかたどって取材できないかという考えがあったところ、先生方のネットワークで作成に携わった先生を特定でき、お会いすることができました。北見市まで出向いて、1時間ほど取材の予定のところ、2時間半ぐらい話させてもらったので、とても有意義な時間でした。今後も作成した生徒の方にも取材できればと考えています。

※名高新聞は、生徒や保護者向けに作成しますので、一般の方に公開はしていません。ご覧になりたい場合、同校新聞局（☎01654③6841）松本先生までご相談ください。

きらめくまちビト…名寄市内で活躍する市民などの紹介を通して、地域の魅力を発信します。